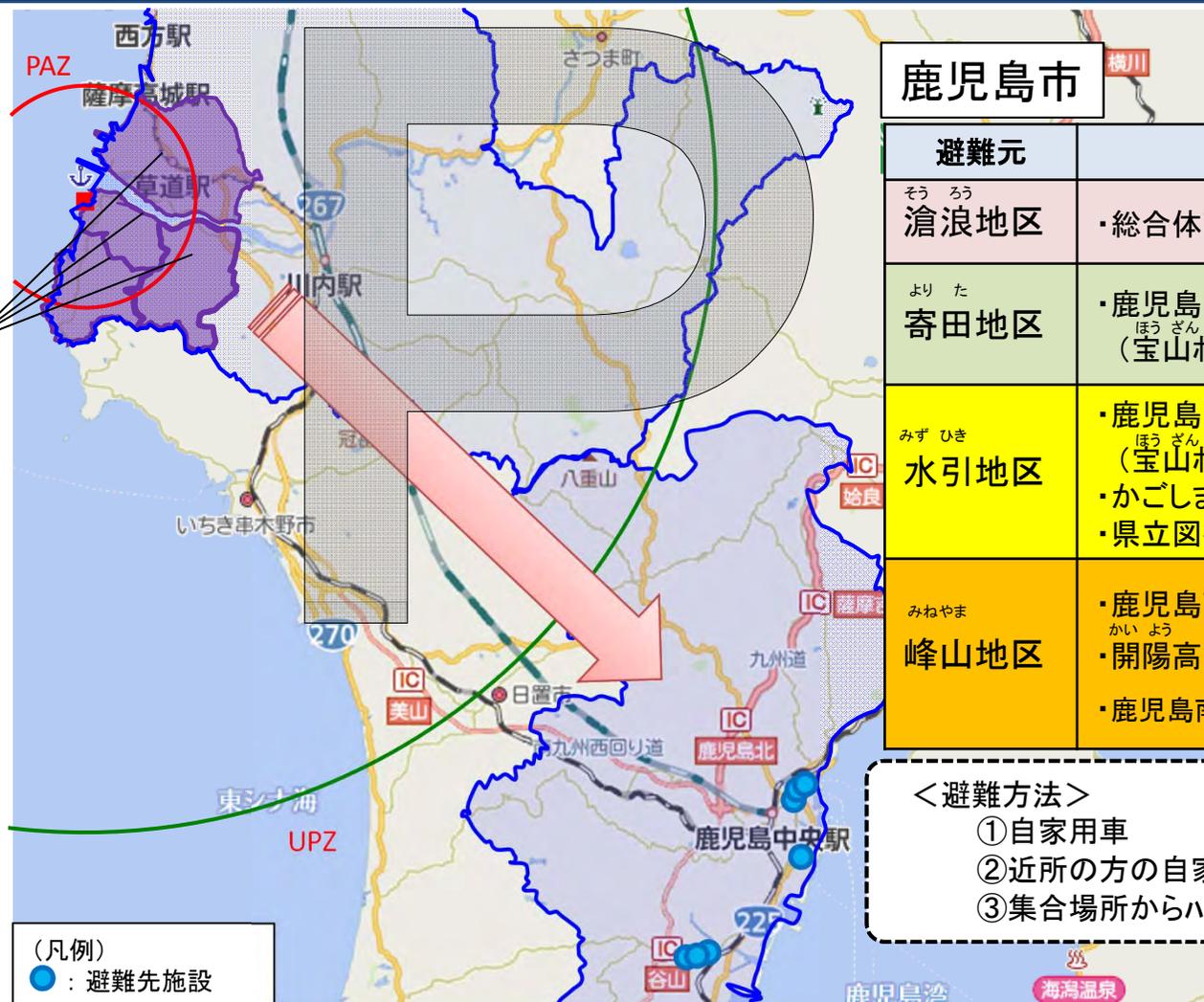


PAZ内の住民の避難先

- 薩摩川内市の4地区（滄浪地区、寄田地区、水引地区、峰山地区）住民の避難先については、鹿児島市内の7施設への避難先を確保。
- 4地区における避難先については、平時から避難計画に関する住民説明会等を通じて対象となる住民に周知。

PAZ内人口	
滄浪地区	375人
寄田地区	285人
水引地区	2,564人
峰山地区	1,300人
合計	4,524人



鹿児島市	
避難元	避難先
滄浪地区	・総合体育センター-武道館
寄田地区	・鹿児島県文化センター (宝山ホール)
水引地区	・鹿児島県文化センター (宝山ホール) ・かごしま県民交流センター ・県立図書館本館
峰山地区	・鹿児島盲学校体育館 ・開陽高等学校体育館 ・鹿児島南高等学校体育館

- <避難方法>
- ①自家用車
 - ②近所の方の自家用車に同乗
 - ③集合場所からバス等

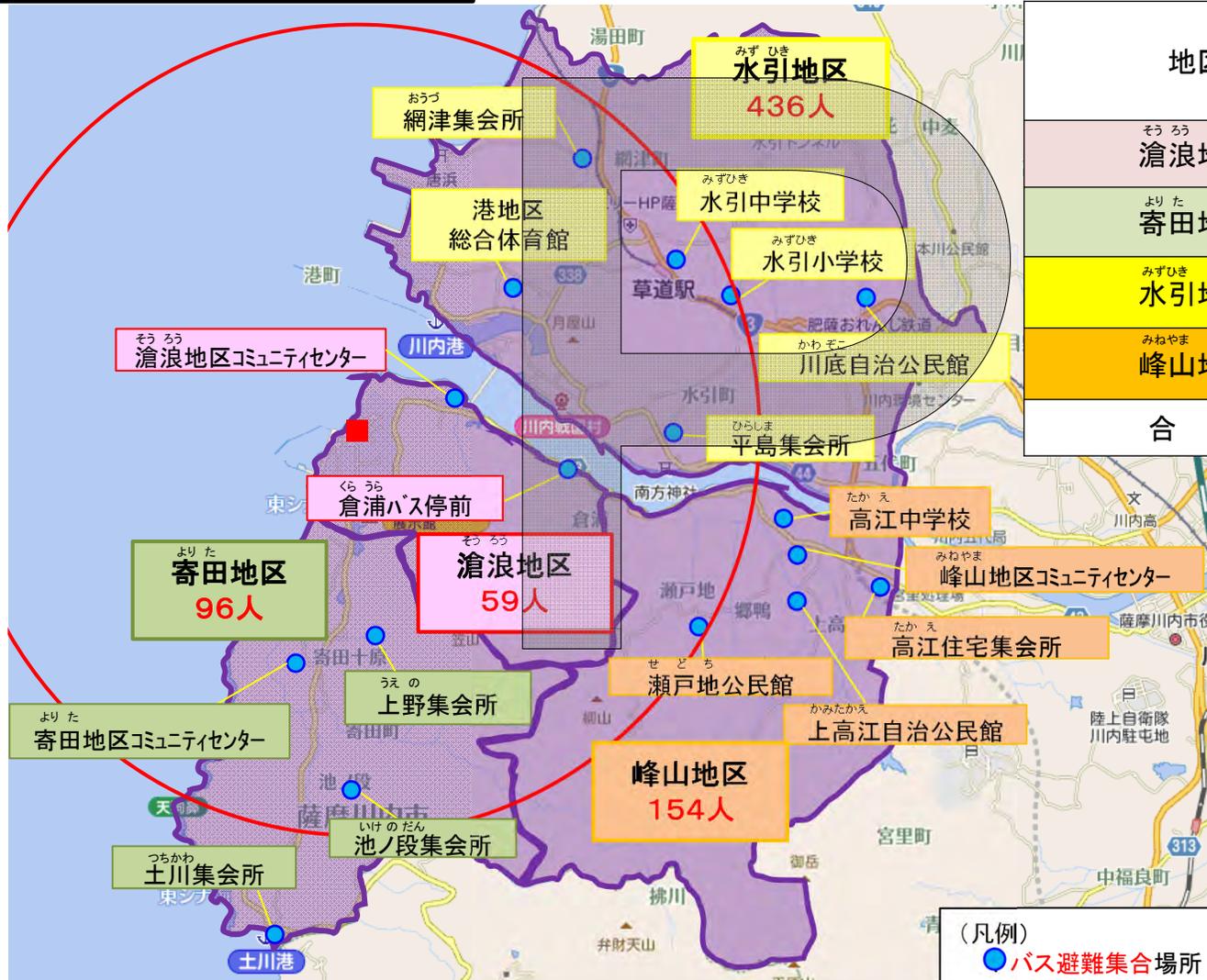
※ 平成29年4月1日現在

(凡例)
● : 避難先施設

自家用車で避難できない住民の数

さつ ま せん だい し そう ろう より た みず ひき みね やま
 ▶ 薩摩川内市の4地区(滄浪、寄田、水引、峰山)を対象とした市による戸別訪問調査の結果、自家用車で避難できない住民は全4,524人のうち合計745人。

自家用車で避難できない住民の集合場所



地区	人口	バス避難者数
滄浪地区	375人	59人
寄田地区	285人	96人
水引地区	2,564人	436人
峰山地区	1,300人	154人
合計	4,524人	745人

※人数は平成29年3月末現在

(凡例)
●バス避難集合場所

全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民約**750**人分、バス**25**台。
- 鹿児島県は、「災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定」※に基づき、県内のバス会社から必要となる輸送手段を**確保**。
- 車両及び運転者については、「災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定」により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 (最大) (人) ※	想定必要バス数 (最大) (台)	備考
自家用車で避難ができない住民	750	25	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り30人程度の乗車を想定

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜全面緊急事態での輸送能力の確保＞

	確保車両台数(台)		備考
	(A)最大必要車両台数	(B)車両確保台数	
	バス	合計 25 以上	
九州電力が配備する車両(B1)	7		九州電力が確保する車両を使用 (施設敷地緊急事態要避難者の避難時に使用した車両を再利用) ※バスは、地元バス会社所有
県が協定に基づき調達する車両 (B)－(B1)		18以上	保有車両台数約1,500台

※ 鹿児島県と公益財団法人鹿児島県バス協会(協力事業者33社)が、平成27年6月26日に締結

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- 地区毎にあらかじめ複数の避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等でバス避難集合場所に集まり、鹿児島県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。

